

(様式4) 継続事業中間評価調査 (平成31年度実施事業)

評価確定日(令和2年7月・日)

事業コード		政策コード		政策名	交通死亡事故の抑止						
事業名	交通安全施設整備・維持管理事業 交通信号機整備事業	施策コード		施策名	安全で快適な交通環境の整備						
		目標コード		施策目標名	計画的な交通安全施設の維持管理						
部名	交通部	課名	交通規制課	係名	安全施設係	(tel)	5212	担当課長名	虎谷一美	担当者名	富樫一博

評価対象事業の内容									
1-1. 事業実施の背景(施策目的達成のための必要性) 交通安全施設、特に信号機は現在、大量更新時期を迎えており、老朽化が原因となる機能停止や倒壊など、県民生活に多大な影響を及ぼす事案の発生が懸念される。 これを未然に防止するため、計画的な信号機の更新に努める必要がある。					3. 事業目的(どういう状態にしたいのか) 限られた財源を有効活用し、安全で快適な交通環境を構築する。				
1-2. 外部環境の変化及び事業推進上の問題点 信号機を始めとした交通安全施設は、交通の安全と円滑を図る上で極めて高い効果を発揮するものとして整備拡充を行ってきたが、大量更新時期を迎えた現在、更新に重点をおいた事業を推進しなければならない。					4. 重点施策推進方針との関係 <input checked="" type="checkbox"/> 重点推進事項 <input type="checkbox"/> その他の事業				
2. 住民ニーズの状況(事業継続中に把握したもの) ①ニーズを把握した対象 <input type="checkbox"/> 受益者 <input checked="" type="checkbox"/> 一般県民 (時期: H 年 月) ②ニーズの把握の方法 <input type="checkbox"/> アンケート調査 <input type="checkbox"/> 各種委員会及び審議会 <input type="checkbox"/> ヒアリング <input type="checkbox"/> インターネット <input checked="" type="checkbox"/> その他の手法 (具体的に 標識BOX等 で受理した意見要望から把握) ③ニーズの具体的内容 信号機の整備(新設・付加装置等の改良、サイクルの調整、更新等)を行い、高齢歩行者、子供、障害者等の交通弱者が安心して安全に道路を利用できる環境を作る一方で、交通渋滞を緩和・解消して交通の円滑化を図ることが求められている。					5. 目的達成のための方法 ①事業の実施主体 警察本部 ②事業の対象者・団体 県民 ③達成のための手段 綿密な現場調査を実施し、老朽化が進んでいる信号機を優先して更新している。				
					6. 前回評価結果等 <input checked="" type="checkbox"/> 実施又は継続 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 再検討又は縮小・休廃止				
					①指摘事項 なし				
					②指摘事項への対応				

7. 事業の全体計画及び財源									
事業内訳コード	事業項目	左の説明	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	全体(最終)計画
	交通安全施設整備・維持管理事業	交通安全施設の整備及び維持管理に要する経費等(道路標示・道路標識整備費等)	304,976	322,153	344,094	298,800	207,942	245,066	
	交通信号機整備事業	交通信号機の整備、維持に要する経費(交通信号機更新工事費等)	646,557	933,624	559,986	531,022	565,458	564,604	
予算額(千円)			951,533	1,255,777	904,080	829,822	773,400	809,670	
財源内訳	国庫補助金		267,047	365,203	260,382	219,092	233,211	222,215	
	県債		425,300	589,800	375,900	369,300	394,000	390,800	
	その他の財源		259,186	300,774	267,798	241,430	146,189	196,655	

8. 事業の効果を把握するための手法及び効果の見込み

指標名 交通安全施設（信号制御機、信号灯器、信号柱）の更新数

指標の種類 成果指標 業績指標

指標式

①年度別の目標値（見込まれる効果）

指標	H28	H29	H30	R1	R2			最終年度
目標a	705	630	630	630	630			
実績b	705	630	630	630				
b/a	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%				
東北								
全国								

②データ等の出典

③把握する時期 当該年度中 月 翌年度 月 翌々年度 月

指標名

指標の種類 成果指標 業績指標

指標式

①年度別の目標値（見込まれる効果）

指標								最終年度
目標a								
実績b								
b/a								
東北								
全国								

②データ等の出典

③把握する時期 当該年度中 月 翌年度 月 翌々年度 月

指標を設定することができない場合の効果の把握方法

①指標を設定することが出来ない理由

②具体的な把握方法

③把握した効果

④データ等の出典

⑤把握する時期 当該年度中 月 翌年度 月 翌々年度 月

所管所属長による評価

現状の課題に照らした妥当性 a b c

高齢者や次世代を担う子供など交通弱者に安全で快適な道路交通環境を提供するとともに、計画的な信号機の更新に努める必要性から、妥当である。

住民ニーズに照らした妥当性 a b c

計画的な信号機の更新は、交通の安全と円滑を確保し、安心・安全・快適に道路を利用したいと願う県民のニーズにかなっている。

法令・条例上の要請等

理由

- 交通安全施設等整備事業の推進に関する法律
- 交通安全施設等整備事業の推進に関する法律施行規則

事業目的の達成状況 評価の対象 対象 対象外 a b c

【理由】

信号機の更新が計画的に実施されたことにより、道路利用者の安全が確保され効果があった。また、交通渋滞の解消・緩和等を図り、円滑な交通を確保するという事業目的が、現状の課題に適切に反映されている。

事業の経済性の妥当性 a b c

【理由】

計画的な信号機の更新を推進することで、厳しい財政状況の中、道路を利用する県民により高い安全性と利便性を提供することとなり、費用対効果の面からも高い効率性が認められる。

事業の妥当性 A(妥当性が高い) B(概ね妥当である) C(妥当性が低い)

対応方針 現状維持で継続 見直して継続 休廃止

計画的な信号機の更新を推進することは、交通信号機整備事業として必要性、有効性、効率性が極めて高いものであり、今後も継続的に事業を推進する必要がある。

評価結果の当該事業への反映状況（対応方針）
事業の継続に必要な予算獲得に努める。

政策評価委員会意見（諮問する事業についてのみ記載）